

かほく ワークシート



(2014年9月28日河北新報朝刊)

盛岡市中心部を流れる中津川で、ことしもサケの遡上(そじょう)が始まった。橋の上では、道行く市民が足を止め、古里へ戻ったサケに温かなまなざしを向けている。

サケは、石巻市の北上川河口から約200キロをさかのぼってきた。体長約60センチの雌雄は、産卵場所を求め、浅瀬を泳ぎ回

サケ戻り 水しぶき

盛岡・中津川

る。時折、力強く水面をたたき、水しぶきを上げていた。

例年11月初めごろまで、約500匹以上が帰ってくる。ことしは東日本大震災の年にふ化した稚魚が戻ってくる年に当たり、回帰数の減少が心配されている。

産卵場所を求め、水面をたたきながら泳ぐサケ。盛岡市・中の橋付近

①サケは石巻市から盛岡市まで、川を何キロさかのぼりましたか。

②サケの卵を人間が取り出して人工ふ化させるのはなぜですか。調べてみましょう。

年 組 名前

(小学校5年/理科)